

## 前回の検討会でご指摘があった事項の整理(案)について

【報告書全般に共通する事項】

番号	事項	ご指摘の内容	整理(案)
1	用語の説明・整理について	「長期層」や「再流入層」といった独特の用語については、一般の読み手にも理解しやすいように、定義を明確にしておく必要がある。	「データ利用上の注意」(P.2)の中に各類型ごとの解説を加えました。
		「支援策」や「支援施策」等の類似の用語が混同して使用されており、これらの用語を整理する必要がある。	行政のホームレス支援に係る施策を表す用語は、統一的に「支援施策」として整理しました。このほか、「東京市部」、「東京近郊」など類似した表現については、それぞれカッコ書きで地名を加えるなど、明確化の観点から所要の整理を行いました。
2	本文中に挿入しているグラフ等の図表について	凡例の字が小さくて見えにくい	報告書巻末の「参考資料編」でデータの詳細を確認できるようにしました。
		重複回答が可能な回答については、そのことを記載した方がよい。	このような設問については、各見出しの末尾にカッコ書きで「複数回答」と記載するようにしました。
		本文中に盛り込まれている図表で「暫定データ」との記載があるものは差し替える予定か。	自由記述の内容を反映させ、今回の報告書案では精査したデータを使用しました。
3	「その他」(自由回答)について	「その他」の自由記述の傾向についても、本文に盛り込んだ方がよいのではないか。	第4回及び第5回の検討会において、自由記述のグルーピング(類型化)を行いました。この結果、多く見られた傾向を本文に加筆しました。

【報告書の個別内容に関する事項】

番号	該当箇所		ご指摘の内容	整理(案)
	パート	頁		
1	第2章 第1節 (回答者の基本属性)	14	女性のホームレスの実態がなかなか分かりにくい。	ホームレスの基本属性に関するコラムの中で、ホームレスの女性の基本属性等についても言及することとしました。
2	第3節 (仕事や収入) 3. 初めて路上生活をする前にやっていた仕事	5	「初めて路上生活をする前にやっていた仕事」という表現がどの時期を指すのかが分かりにくい。	この表現は、調査票で使用しているため、本報告書でも同一の表現を用いることとしますが、どの時期を指すのかが明確となるように、「3. データ利用上の注意」の中にイメージ図を挿入しました。
3	4. 一番長くやっていた仕事	41	35歳未満の年齢層に関するサンプル数が少ない(17)ため、そのことも明記しておくべきである。	ご指摘の趣旨を踏まえ以下のとおり加筆しました。 「サンプル数は少ないが35歳未満の年齢層で「サービス職業従事者」が占める割合が最も多く47.1%である。」
4	第4節 (路上(野宿)生活に至ったいきさつと移動) (3)現在路上生活をしている市区町村に来た理由	47	現在路上生活をしている市区町村に来た理由のうち「その他」の内訳を見ると、「偶然・特に理由はない」といった層が見られる。また、「以前の知り合いが誰もいなそうである」といった、いわば消極的な理由により来ている層が一定数を占めている。これが割と実態に近いように見え、必ずしも主体的な選択により来ているわけではないことを報告書の中に明確に盛り込んでおいた方がよい。	ご指摘の趣旨を踏まえ以下のとおり加筆しました。 「また、「以前の知り合いが誰もいなそうである」が7.9%となっており、さらに「その他」の自由記述の内訳を見ると、「偶然・特に理由がない」が一定数を占めている。このように主体的な選択によってではなく、消極的な理由により現在の場所に来ている層も多くなっている。」
5	3. 特定地域・場所(いわゆる「寄せ場」)での就労・求職経験	51	特定地域・場所(いわゆる「寄せ場」)での就労・求職経験については「なし」が多く占めているため、各地域の対比が分かりにくいのではないかと。	ご指摘の趣旨を踏まえ、まずはじめに、就労・求職経験について、「あり」「なし」「無回答」に分類したグラフを示した上で、「あり」について特定地域ごとに分類したグラフを示すこととしました(図表71)。

番号	該当箇所		ご指摘の内容	整理(案)
	パート	頁		
6	第7節 (制度や支援の利用) 3. 自立支援センター (1) 自立支援センターの認知度・利用 経験	76	自立支援センターの認知度・利用経験を自治体別に見ると、「知っており、利用したことがある」割合が、全体(10.1%)と比べて、横浜市が突出していることが分かる(30.8%)。この要因として、横浜市は、他の自治体と運営形態が異なり、入り口が広く設定しており、繰り返し入所のチャンスを提供していることにあるのではないかと。このことを本文にも記述した方がよいのではないかと。	事務局において、横浜市に自立支援センターの運用状況を確認しましたところ、委員ご指摘のとおり、センターはシェルター機能も兼ねており、本人が希望すれば複数回、入所できるしくみを用意しているとのことでした。このため、センターの運用方法が関連していることを本文中に明記することとしました。
7	(3)③自立支援センターから就労退所した人が路上生活に戻った理由	80	サンプル数は少ないが、アパートを確保しセンターを就労退所したが、再び路上に戻った理由を見ると、「生活面での失敗」が最も多くなっていることは注目すべき事柄であり、退所後の生活面でのサポートや見守りの必要性が示唆される。この点を、コラムに盛り込んだ方がよいのではないかと。	コラム等の中に、この点を盛り込むこととしました。
8	5. 生活保護制度の利用	89	アパート等で単身で生活保護を受給したことがある者が、再度、路上生活に至った原因を見ると、「飲酒・ギャンブル」が一定の割合を占めているが、このことが「一人歩き」しないよう注意深い記述が必要である。	水内委員にご執筆いただく予定のコラム「生活保護利用経験者に関する分析」の中で、この点もご配慮いただきながら記述いただくこととしています。
9	7. 民間団体の支援 (2) 民間支援団体についての情報入手 経路	94	「あなたが利用したことのある民間支援団体について、どこで知りましたか」という設問の回答について、「その他」の自由記述の内訳を見ると、支援団体からの声掛けが200件以上に上っている。このことを本文中に明確となるように再整理してみてもどうか。	ご指摘の趣旨を踏まえ、同様に支援団体からのアウトリーチ活動である「2. 炊き出しや夜回りで配られたチラシ等」に、声掛けを含めてデータを再集計するとともに、本文中にこのことを明記することとしました。
10	ホームレス経験者の現在の就労状況	111	ホームレスを脱し現在は就労している者の実態についてコラムとして盛り込んでどうか。	水内委員にご執筆いただくこととしました。